

【第1回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：医師確保タスクフォース

会議開催日時：令和3年1月6日（水）17時30分～18時30分

会 場：南魚沼市民病院 第2会議室

参加者：外山副市長、病院部局(院長)、市長部局（1人）、事務局（1人）

会議の内容

- 令和2年度に向けての取り組み（機構改革、予算措置、市民病院（経営）改革）
- 令和2年度一般会計から病院事業会計全体への繰入れ状況
- 寄付講座について
- 市民病院勤務希望医師について
- 委託契約状況、来年度の再契約について
- DPCについて

各委員からのご意見

- 病院経営の改善が必要なのは分かるが、何から手をつけたらよいか。
- 市の財政は、ふるさと納税が非常に好調だったため支援できていたが、継続する保証はなく、それ抜きで今後も同様の支援を続けるのは大変厳しい状況。
- 医療費はどの地域も少なくなってくるが、一方介護需要は増えていっているのもう少し介護の方へシフトするやり方もある。
- 効率性から言うと、DPCはやるべきである。
- 病院は質の高い医療を提供している。病院は非常に皆真面目に頑張っている。
- 寄付講座などにより常勤医をもう少し集めて、非常勤医を減らすことが必要。
- 医事のプロがないのが大きな問題であり、組織的に改善に取り組むのは難しい。
- 他の優秀な病院は何をしているかを勉強し、対応すれば良いのだが、この辺りに対する意識を改革しないといけないが、なかなか難しい。
- 定例会議を毎月しても、生きた数字として入ってこない。医師は何をしたらいいのか、もう少し実感できるような、統計的な表現が足りないのではないか。
- 回復期リハビリ病棟ができればよいが、介護関係の受け皿がないと難しい。
- 城内診療所は、中長期的に考えれば集約が必要ではないか。

今後の課題・対応

- 継続して情報共有、意見交換を行っていく。